

介護支援専門員とリハビリテーション専門職との 協働に向けた役割

平成30年度介護報酬改定を受けて、介護支援専門員とリハビリテーション専門職とが、どの様に協働し、どの様に役割を果たしていくのかを協議いたします。

会場：JA・AZMホール
本館2階大研修室
(宮崎県宮崎市霧島1-1-1)

対象者：介護支援専門員、理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士

定員：200人(申込は先着順。定員に
達した場合のみ連絡をします。)

参加費：会員2000円・非会員4000円

平成30年

10月28日(日)

10時00分～

(受付開始9時30分～)

特別講演：

「平成30年介護報酬改定を受けての検証：協働に向けた役割」

講師：埼玉県立大学大学院 兼 研究開発センター教授 川越雅弘氏

シンポジウム：

介護支援専門員とリハビリテーション専門職との協働の実態

グループワーク：

退院時における介護支援専門員とリハビリテーション専門職との協働

主催



高千穂峡

第11回 訪問リハビリテーションフォーラム2018 part II プログラム

1. 開会式 (10:00~10:10)
 挨拶: (一社) 日本言語聴覚士協会 会長 深浦順一
 (一社) 宮崎県介護支援専門員協会 会長 牛谷義秀
2. 特別講演 (10:10~11:30) 司会:(公社) 日本理学療法士協会 副会長 斉藤秀之
 「平成30年介護報酬改定を受けての検証：協働に向けた役割」
 講師：埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究所 兼 研究開発センター教授 川越雅弘 氏
3. シンポジウム (11:40~12:40) 座長:(一社) 日本介護支援専門員協会 副会長 小原秀和
 「介護支援専門員とリハビリテーション専門職との協働の実態」
 ① 退院における訪問リハビリテーションとの協働
 ② ターミナル期における訪問リハビリテーションとの協働
 ③ 訪問リハビリテーションにおける社会参加への協働
4. グループワーク (13:30~15:50) 司会: (一社) 日本介護支援専門員協会 常任理事 坪根雅子
 「退院時における介護支援専門員とリハビリテーション専門職との協働について」
5. 閉会式 (15:50~16:00)
 閉会挨拶: (一社) 日本作業療法士協会 常務理事 三澤一登
 (一社) 日本介護支援専門員協会 会長 柴口里則

* 介護支援専門員の参加者には受付にて参加証明書を配布します。
 * 宮崎県については、主任介護支援専門員更新研修の受講要件を満たす研修です。
 (なお、他の都道府県については、各都道府県庁にご確認ください。)
 プログラムは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

【お申し込み 定員200名】

注：申込は先着順。定員に達した場合お断りの連絡をさせていただきます。予めご容赦ください

- ①インターネットでの申し込み：右記のQRコードまたは、下記のURLから申し込みフォームにて入力を行ってください。申し込みURL：<https://form.os7.biz/f/01db003c/>
- ②FAXの申し込み：下記に必要事項をご記入のうえ、指定のFAX番号までお送りください。
 申し込み開始：平成30年8月6日正午 申し込み期限：平成30年10月20日正午迄



F A Xお申込用紙 (F A X 番号 : 0 3 - 5 7 6 5 - 5 1 7 7)

| | | | |
|--------------|---------------|---------------------------|--|
| お名前 | フリガナ | 電話 | |
| | | F A X | |
| ご勤務先 (住所) | | 所属団体 | <input type="checkbox"/> 日本理学療法士協会 <input type="checkbox"/> 日本作業療法士協会 <input type="checkbox"/> 日本言語聴覚士協会 <input type="checkbox"/> 日本介護支援専門員協会 <input type="checkbox"/> 非会員 |
| | | 会員番号 (日本協会・ 県協会を明記) | |

お問い合わせ先

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 事務局 横山

〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウイング6階 メールアドレス：info@hvrpf.jp